

あきたの うらやましい かちど

VOL. 520
2022.4.25

「大川端带状近隣公園」

令和4年度がスタートし早1ヶ月が経過しました。表紙の写真は、秋田市新屋にある公園の桜並木です。今年こそはお花見が出来ると楽しみにしていましたが、まだまだコロナの終息には時間が掛かりそうです。

今年度も「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールを開催いたします。秋田県の持つ豊かな自然や素晴らしい農村風景の魅力を県内外の方々を知っていただくため、沢山のご応募を心よりお待ちしております。

撮影者／政策・広報班
寺澤 藍



イメージキャラクター
みどりちゃん

TOPIC 1 新年度挨拶

TOPIC 2 令和4年度秋田県農業農村整備事業予算の概要について

会長 挨拶



秋田県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット秋田) 会長

高貝 久遠

の保全管理を推進するとしています。

県においても、「あきた型ほ場整備」など複合経営化に向けた取り組みを一層強化するとともに、持続可能で効率的な生産体制の確立に向け、スマート農業に対応できる基盤整備等を推進するとしています。

本会は、こうした農業政策の推進の一翼を担い、本県農業・農村の持続的発展を実現するために、最新の農業政策に関する情報収集と分析を強化するとともに先端技術の習得等に努め、会員への充実した支援を図るほか、農業農村整備事業を計画的かつ安定的に実施するための十分な予算確保に向けて、引き続き積極的に要請活動を実施してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

また、4月1日には、農業農村整備事業の充実と迅速化等を内容とした改正土地改良法が施行されたほか、秋田県の「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」がスタートするなど、農業・農村整備は新たなステージを迎えていることから、私ども役職員一同、気を引き締め、総力を挙げて業務にあたってまいりますので、今後とも、なお一層の御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御活躍、そして新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を心から御祈念申し上げ、年度初めの挨拶といたします。

爛漫と咲き誇る桜並木が、春の青空にひとときわ映え、気持ちも華やぐ好季節を迎えております。

会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より農業農村整備事業の推進に御尽力をいただくとともに、本会の業務運営に特段の御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本県の農業は「米依存からの脱却」に向けた取り組みにより、園芸品目の生産が拡大し、複合型生産構造への転換が進んでいるほか、今年、水稻の新品種「サキホコレ」が本格的に市場デビューするなど、成長産業化に向けて着実に前進しております。

一方で、国内の農業・農村をめぐる情勢は、高齢化や人口減少による農業者の減少と農村集落機能の低下、コロナ禍の影響による米の過剰在庫や米価の下落、大規模自然災害の頻発化・激甚化等の課題を抱えているほか、日米貿易協定やRCEP協定などの相次ぐ発効による新たな国際環境に対応するため、農業の国際競争力の強化も求められています。

こうしたなか国では、「人口減少下で持続的に発展する農業」と「多様な人が住み続けられる農村」を農業・農村が目指すべき姿とし、その実現に向けて農地の集積・集約化、高収益作物への転換、農業水利施設の機能

水土里ネット秋田新役員の紹介

令和4年4月1日就任

(任期：令和4年4月1日から令和7年3月31日まで)



◆理事

瀨川 等

◎湯沢雄勝土地改良区
理事長

目次

CONTENTS

会長挨拶	2	女性事務局長に聞く！土地改良区リレーインタビュー	14
水土里ネット秋田新役員の紹介	2	(秋田県仙北平野土地改良区：事務局長 坂本 由美子)	15
秋田県農林水産部新任挨拶	3	随想(由利本荘市矢島町土地改良区：職員 佐藤 京子)	15
令和4年度秋田県関係機関の紹介	5	秋田の土地改良519号についてお詫びと訂正	15
令和4年度土地改良関係課機構図(秋田県)	6	連合会日誌	15
令和4年度秋田県農業農村整備事業予算の概要について	7	水土里レポーターによる写真投稿	16
令和4年度事務局機構図及び職員配置	8	(湯沢雄勝土地改良区(稲川支所)：主事 柴田 大翔)	16
水土里ネット秋田新任職員の紹介	10	水土里のゴミゼロDAY(開催予定)	16
「水田活用の直接支払交付金」の厳格化見直しへの要請活動	11	会員だより	16
ため池に関する相談について～秋田県ため池保全サポートセンター～	11	「全国水土里ネット女性の会」会長の就任について	16
第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール	12	リレー感想文	16
おらほの自慢っこ～来てくれ！秋田市～	12	編集後記	16
(秋田市観光文化スポーツ部観光振興課：主事 久米 竜矢)	13		

秋田県農林水産部 新任のご挨拶

農林水産部 次長

舩谷 雅広



水土里ネット会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備の推進に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。令和元年度から昨年度まで農地整備課長を3年間務め、この度、農林水産部次長に就任いたしました。農地整備課長時代は、コロナ禍により、会員の皆様と膝をつき合わせてお話しさせていただく機会が少なく残念な思いでしたが、一刻も早いコロナの収束を願うとともに、コロナ後に会員の皆様と忌憚のない意見交換ができる日を心待ちにしておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

さて、コロナ禍やウクライナ情勢など、国内外において予断を許さない状況にある中、本県が日本の食料供給基地としての役割を果たしていくことの重要性が一層問われているように感じています。こうした中、あきた型ほ場整備をはじめとした農業農村整備事業は、収益性の高い複合型生産構造への転換や担い手への農地集積を促進するとともに、スマート農業の推進を図るなど、食料供給力を強化する上で必要不可欠であり、県政運営の新たな指針「新秋田元気創造プラン」においても、引き続き重点施策として進めていくこととしております。また、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や中山間地域の活性化、ため池の防災減災対策や田んぼダムによる流域治水対策等においても、水土里ネットの果たす役割に期待する声が年々増していると感じております。

今後も皆様と共に、本県の農業・農村の発展に向け全力で取り組んで参りますので、より一層の御支援をよろしくお願いいたします。

農地整備課長

大山 泰



水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から、本県の農業施策の推進に御理解と御協力を賜り、また、農業農村整備予算の確保に多大なお力添えをいただいていることに深く感謝申し上げます。4月より農地整備課長を拝命いたしました。よろしくお願いいたします。

さて、県では、この3月に「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」を策定いたしました。農林水産戦略では、食料供給力の強化や農山漁村の活性化などを4年後の目指す姿として掲げ、農業農村整備分野においては、産地づくりやスマート農業を支える基盤整備や中山間地域における園芸振興などに重点的に取り組むこととしております。

こうした中、ロシアのウクライナ侵攻を引き金として、世界的な食料需給の構図の変化が想定され、多くを海外に依存している我が国においては、食料の安全保障がより大きな命題となっています。広大な農地を有する本県におきましては、生産性の高い農業を持続的に展開し、多様な農産物を安定的に供給していくことが何よりも重要と考えております。

このため、農業生産を支える農地等の基盤を将来に確実に引き継ぐべく、整然で機能的な美しいほ場を築き上げるとともに、清冽で潤沢な水を湛える用排水系統を守ることに軸足を置きつつ、ICT化など効率的営農の将来的な展開を見据えた整備など、時勢に鑑みながら農業農村整備事業を力強く推進してまいりたいと考えております。

農業をとりまく情勢が目まぐるしく変わる中、農業農村整備もしっかりと対応していく必要があります。現場の声に耳を傾け、きめ細かなニーズに可能な限り応えていくよう努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、引き続き、御指導・御支援のほどよろしくお願いいたします。

農山村振興課長

佐藤 大祐

水土里ネット会員の皆様におかれましては、農業農村整備事業や日本型直接支払等をはじめとする地域政策の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年4月より農林水産省より出向し、本年4月より農山村振興課長を拝命いたしました佐藤と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、本県への出向前、農村振興局にて、食料・農業・農村基本計画のうち農村政策部分の策定や、新しい農村政策の在り方に関する検討会の運営に関わってきました。その中で、日本全国の農山漁村に消えない火を灯せるような仕事をしたいという、農林水産省という職場を志した時から変わらない思いを実現させるため、日々模索してきました。

早いもので、本県に来てから1年が経過しましたが、霞ヶ関と県の大きな違いの一つは、現場との距離の近さであるということを感じております。こうした利点を最大限に活かしながら、施策を作って終わりではなく、積極的に現場に足を運び営業し、伴走し、ともに考えていけるような働き方を目指していきたく思っております。

本誌をお読みの皆様一人一人とも、秋田県の農山漁村の明るい未来の創造に向けて、たくさん議論させていただけたら嬉しいです。

人口減少・高齢化により、秋田県の農山村を将来にわたって維持できるのか、その大きな分岐点に立っておりますが、課題先進県である秋田県の挑戦が、日本全国の農山村を救うモデルとなる、という強い意識を持ちつつ、全力で取り組んでまいりますので、一層の御支援と御協力をお願いいたします。



農地整備課 政策監

足立 徹

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から、本県の農業農村整備施策の推進に御理解と御協力を承り、厚く御礼申し上げます。

この度、農林水産省から参りました足立と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

これまでの任地は東京都、宮城県、徳島県、タイ国などで、いずれの場所でもかんがい排水事業関係を担当することが多く、その都度、現場や全国の土地改良区の皆様から御指導・御支援をいただきながら、ダムや用水路の工事、事業の計画、事業の推進、新たな制度の設計、二国間かんがい技術交流などに携わってまいりました。

そしてこの春、日本を代表する農業県である秋田県において、その農地を潤す水の管理を担う水土里ネット秋田の会員の皆様とともに、農業農村整備を進める機会に恵まれたことに、感謝の念が尽きません。収益性の高い農業の実現に向けたあきた型ほ場整備の推進、ICT技術を活用した水管理の普及などを含め、将来の秋田県農業の展開に向け、少しでも皆様のお役に立てるよう、一步一步進めていきたいと思ひます。

さて、御周知のとおりと存じますが、令和4年度の農業農村整備事業関係の予算につきましては、令和3年度補正予算と合わせると6,285億円となり、前年度と同程度の予算が確保されました。また、本県の令和4年度当初執行予算は、事業費ベースで359億円となり、6カ年連続で310億円以上の予算を確保しております。

これもひとえに本会の会員の皆様が各方面に現場の声を届けていただいた賜物であり、心から感謝申し上げますとともに、現場のニーズを十分に反映した予算確保が出来るよう引き続き努めてまいりますので、御支援・御協力をお願いいたします。



秋田県は4月1日付けで、令和4年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次のとおりになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・課長等の紹介(R4.4.1現在)

部長	佐藤 幸盛
森林技監	村上幸一郎
次長	佐藤 功一
次長	舩谷 雅広
次長	藤村幸司朗
次長	清水 讓
参事(兼農林政策課長)	本藤 昌泰
課長待遇(秋田県土地改良事業団体連合会派遣)	高橋 篤史
課長待遇(秋田県農業会議派遣)	桜庭 憲光
課長待遇(秋田県林業公社派遣)	小坂 琢也
課長待遇(秋田県農業公社派遣)	田口 淳一
課長待遇(秋田県木材加工推進機構派遣)	土田 信次
農林政策課政策監	佐々木 功
スマート農業推進監	川本 朋彦
農業経済課長	進藤 隆
農業経済課販売戦略室長	播磨 成人
農山村振興課長	佐藤 大祐
水田総合利用課長	草薨 郁雄
水田総合利用課秋田米ブランド推進室長	本郷 正史
園芸振興課長	加賀谷由博
畜産振興課長	畠山 英男
農地整備課長	大山 泰
農地整備課政策監	足立 徹
水産漁港課長	阿部 浩樹
林業木材産業課長	澤田 智志
林業木材産業課再造林推進監	斎藤 正喜
森林整備課長	三森 道哉
農業研修センター所長	相馬 孝志
農業試験場長	佐藤 孝夫
果樹試験場長	上田 仁悦
畜産試験場長	長谷部 毅
水産振興センター所長	水谷 寿
林業研究研修センター所長	戸部 信彦
病虫害防除所長	小林 恭二
花き種苗センター所長	工藤太刃哉
北部家畜保健衛生所長	西宮 弘
中央家畜保健衛生所長	木村 衆
南部家畜保健衛生所長	佐々木専悦

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

〔鹿角地域振興局〕
 ◇局長：今川 聡 ◇農林部長：小林 文夫
 農林部次長：佐藤 裕
 〔北秋田地域振興局〕

◇局長：畠山 賢也 ◇農林部長：齊藤 英樹
 農林部次長：佐藤 英樹
 〔山本地域振興局〕
 ◇局長：栗田 亨 ◇農林部長：小棚木栄作
 農林部次長：佐藤 浩平
 〔秋田地域振興局〕
 ◇局長：伊藤 淳一 ◇農林部長：鈴木 慎一
 農林部次長：亀山 博昭
 〔由利地域振興局〕
 ◇局長：川村 之聡 ◇農林部長：齋藤 辰嗣
 農林部次長：森川 光彦
 〔仙北地域振興局〕
 ◇局長：齋藤 正和 ◇農林部長：大石 勝
 農林部次長：岸 秀一
 〔平鹿地域振興局〕
 ◇局長：佐藤 徹 ◇農林部長：川原谷 実
 農林部次長：今泉 裕
 〔雄勝地域振興局〕
 ◇局長：阿部 喜孝 ◇農林部長：佐藤 尚志
 農林部次長：柴田 雄喜

【その他関係部署】

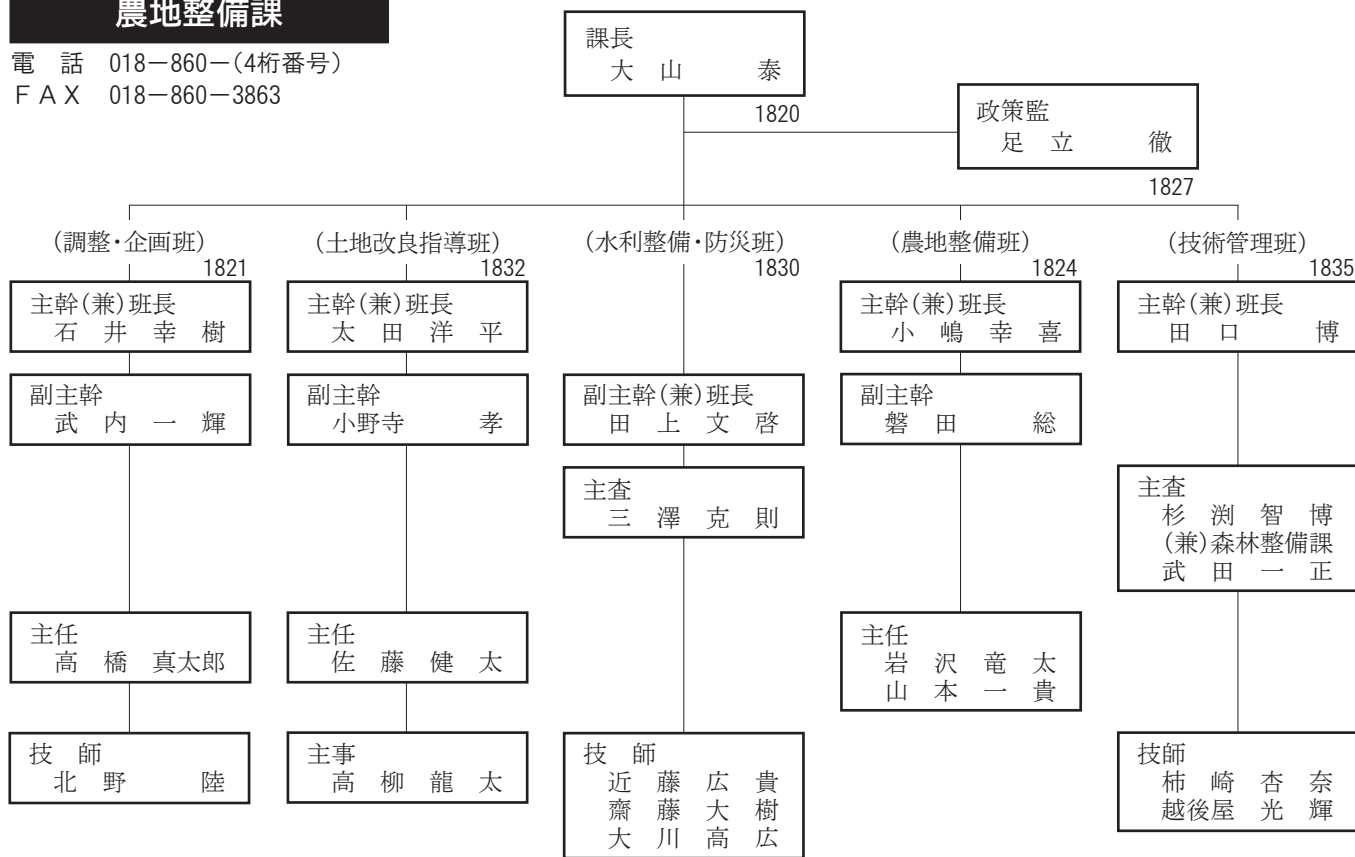
生活環境部
 八郎湖環境対策室長 石井 公人
 建設部
 技術管理課技術管理監 渋谷 博徳
 出納局
 検査課技術管理監 長嶋 満

〔各地域振興局農林部農村整備課長・所長及び班構成〕

◇鹿 角：保坂 清一
 (ふる里づくり班・生産基盤班)
 ◇北 秋 田：佐藤 義隆
 (管理班・ふる里づくり班・生産基盤班)
 ◇山 本：渡辺 亮
 (ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班)
 ◇秋 田：佐藤 芳雄
 (管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基盤第三班)
 ◇八郎潟基幹施設管理事務所：須藤 邦彦
 ◇由 利：安藤 幸弥
 (ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班)
 ◇仙 北：福司 健治
 (管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班・生産基盤第三班・生産基盤第四班)
 ◇平 鹿：佐藤 幸雄
 (ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤第二班)
 ◇雄 勝：宮城 良春
 (ふる里づくり班・生産基盤班)

農地整備課

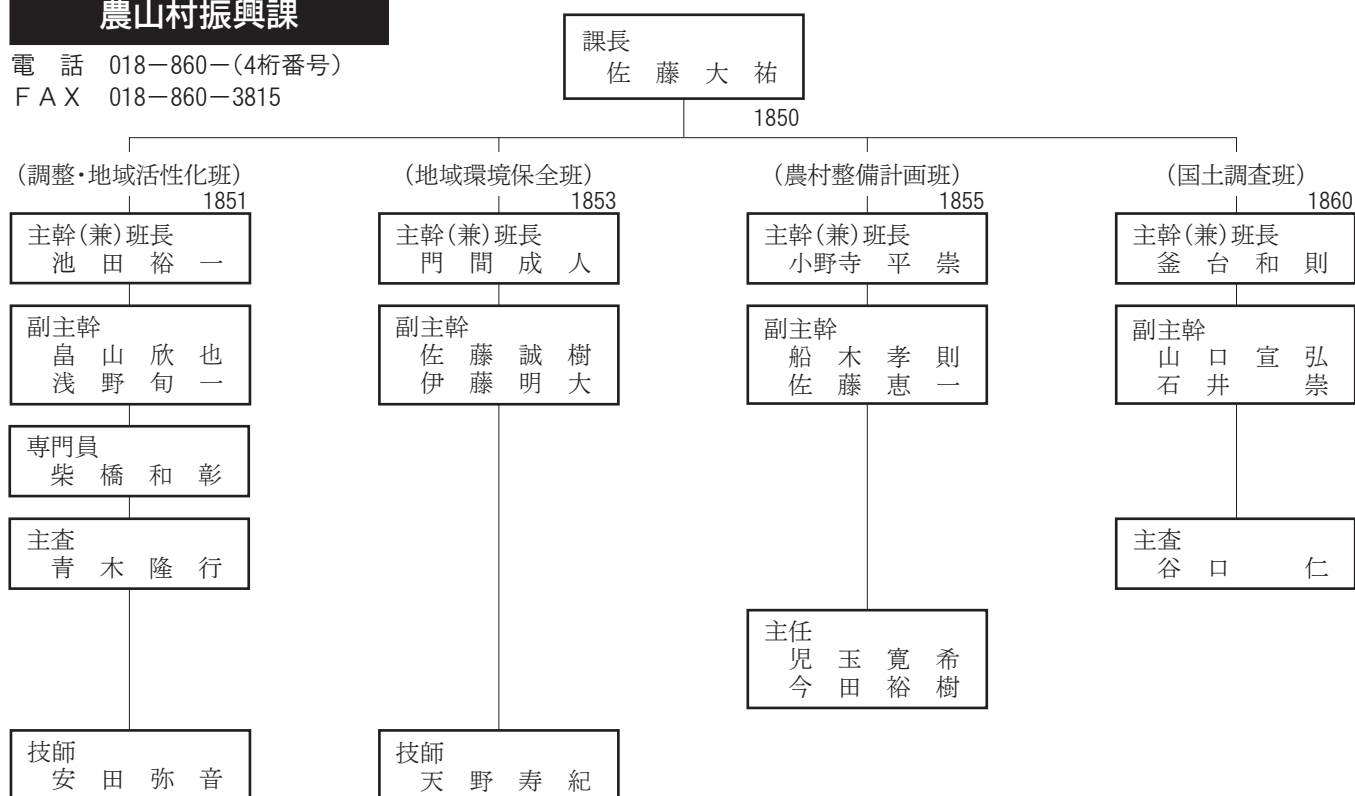
電話 018-860-(4桁番号)
FAX 018-860-3863



(派遣職員)
副主幹 沢田 明彦 (秋田県立大学大学院)
主査 池田 剛志 (東北農政局：八郎潟農業水利事業所)

農山村振興課

電話 018-860-(4桁番号)
FAX 018-860-3815

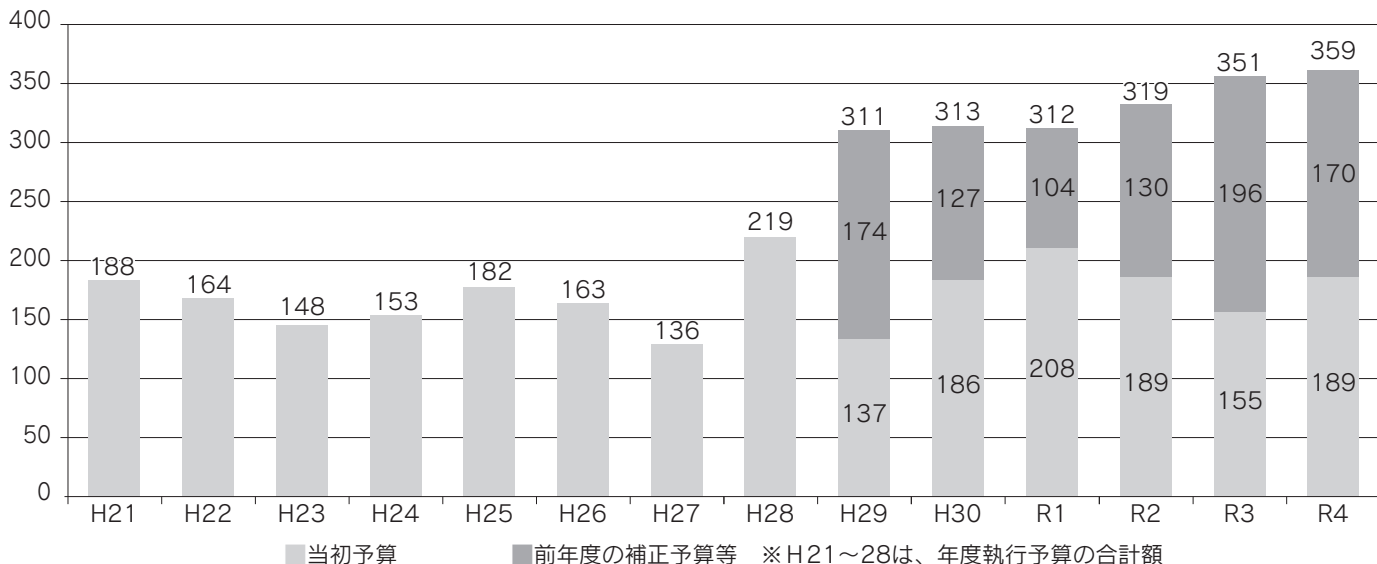


令和4年度秋田県農業農村整備事業予算の概要について

○ 県の4年度当初執行予算（事業費ベース）は、4年度当初予算189億円に3年度補正予算170億円を加えた359億円となり、前年度の351億円を上回る予算となっている。

【秋田県の農業農村整備予算の推移(当初執行事業費ベース)】

単位：億円



【秋田県の農業農村整備事業予算(市町村別)】

(令和3年度国補正、令和4年度当初)

単位：百万円

管内	市町村名	農地整備	かんがい排水	農地防災	合計
鹿角	鹿角市	55		273	328
	小坂町				
	管内計	55		273	328
北秋田	大館市	1,061	2	308	1,371
	北秋田市	509			509
	上小阿仁村				
	管内計	1,570	2	308	1,880
山本	能代市	1,700	20	348	2,068
	藤里町	30			30
	三種町	16	74	564	654
	八峰町	44	105		149
	管内計	1,790	199	912	2,901
秋田	秋田市	5,022	2	667	5,691
	男鹿市	382	3	5	390
	潟上市		118	623	741
	五城目町	356	13	221	590
	八郎潟町	12	3	176	191
	井川町		4	473	477
	大潟村	598	359		957
	管内計	6,370	502	2,165	9,037
由利	由利本荘市	840	147	523	1,510
	にかほ市	80		87	167
	管内計	920	147	610	1,677
仙北	大仙市	4,619	1,543	385	6,547
	仙北市	2,558		23	2,581
	美郷町	1,320			1,320
	管内計	8,497	1,543	408	10,448
平鹿	横手市	2,648	804	430	3,882
	管内計	2,648	804	430	3,882
雄勝	湯沢市	170	319	50	539
	羽後町	19		16	35
	東成瀬村				
	管内計	189	319	66	574
小計		22,039	3,516	5,172	30,727
		その他			5,201
		合計			35,928

※1 「農地整備」は、ほ場整備事業、戦略作物生産拡大基盤整備促進事業、農地耕作条件改善事業等
 「かんがい排水」は、かんがい排水事業、基幹水利施設ストックマネジメント事業、国営造成施設管理体制整備促進事業等
 「農地防災」は、ため池等整備事業、地すべり対策事業、特定農業用管路等特別対策事業
 「その他」は、県営事業調査計画費、八郎潟干拓基幹施設維持管理費、ため池耐震性調査及び劣化状況評価、集落排水事業等
 ※2 受益地が複数の市町村に跨る地区の予算は、受益地が最も一番大きい市町村に計上している。

令和4年度事務局機構図及び職員配置

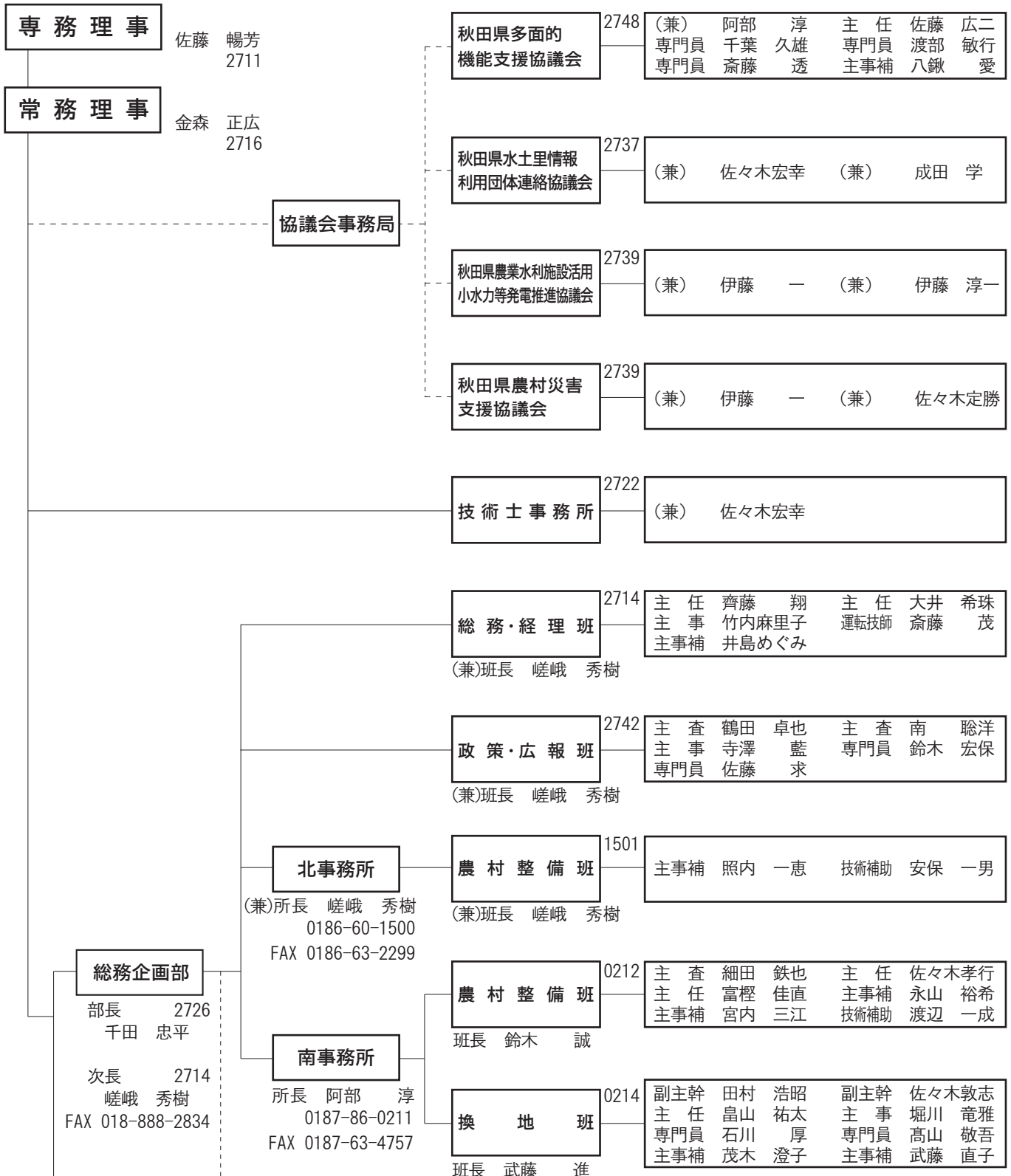
(令和4年4月1日付発令)

水土里ネット秋田では、4月1日付で令和4年度の人事異動を発令した。事務局体制は3部7班1センター室とし、2事務所（北・南）は総務企画部の管轄になっている。

令和4年度の事務局体制（機構図及び職員配置図）は次のとおり。

令和4年度 秋田県土地改良事業団体連合会事務局体制

電話 018-888-(4桁番号) FAX 018-888-2834(代表)



技
監

高橋 篤史
2723

管理情報部

部長 2727
加藤 俊逸

技術長 2722
佐々木宏幸

次長 2739
伊藤 一

FAX 018-888-2835

農地整備部

部長 2717
小松 敏孝

次長 2729
石井 淳

次長 2741
寺田 正樹

FAX 018-888-2833

技術・調整班
水土里情報センター室

2737

主査	成田 学	主任	大山 雄平
技師	鈴木 佳偉	専門員	佐々木定勝
主事補	筒井 千草		

(兼)班長(兼)室長 佐々木宏幸

施設整備班

2739

副主幹	伊藤 淳一	副主幹	米谷 瑞穂
副主幹	畠山 将志	主査	福岡 勝也
技師	櫻庭 颯希	技師	出原 拓真
技師	佐々木大義	技師	松永 周佑
専門員	鎌田 秋美	専門技術員	阿部 博光
専門技術員	渡部 剛	(兼)主事補	筒井 千草
技術補助	傘木 透		

(兼)班長 伊藤 一

(部 付 け)

主任	富岡 祥太 (旭川農業水利事業所)
専門員	倉田 朝幸 (田沢二期農業水利事業所)
専門員	後松 聡 (田沢二期農業水利事業所)
専門員	伊藤 吉生 (田沢二期農業水利事業所)
専門員	伊藤 弘之 (平鹿平野農業水利事業所)
専門員	松田 光栄 (平鹿平野農業水利事業所)
専門員	佐藤 淳一 (平鹿平野農業水利事業所)
専門員	織田 一広 (旭川農業水利事業所)
専門員	佐藤 雅洋 (旭川農業水利事業所)
専門員	中田 直樹 (大潟土地改良区)
専門員	児玉 正大 (大潟土地改良区)

農地整備班

2734

副主幹	武石 智	主査	柴田 恭司
主査	佐々木純人	主査	吉岡 優人
主任	遠藤 光	主任	畠山 範彦
技師	佐藤 聡太	技師	小濱 瑞樹
技師	嵯峨 瑞基	技師	三浦 泰斗
主事補	高坂美保子		

(兼)班長 石井 淳

測 量 班

2728

主査	熊谷 栄一	技師	齊藤 大河
技師	門間 康太		

班長 柏谷 直人

換 地 班

2741

副主幹	加藤 和洋	主査	鎌田 利昭
主査	小野 綾子	主査	前山 知之
技師	工藤 駿	技師	久保田来希
主事	栗谷川 嵩	専門員	津谷 和弘
専門員	渡辺 豊	主事補	石井 陽子
主事補	佐々木 恵		

(兼)班長 寺田 正樹

技術検討
プロジェクト

(兼)	高橋 篤史	(兼)	千田 忠平
(兼)	加藤 俊逸	(兼)	小松 敏孝
(兼)	嵯峨 秀樹	(兼)	佐々木宏幸
(兼)	伊藤 一	(兼)	石井 淳
(兼)	柏谷 直人		

災 害
プロジェクト

(兼)	高橋 篤史	(兼)	伊藤 一
(兼)	石井 淳	(兼)	柏谷 直人
(兼)	鈴木 誠	(兼)	大山 雄平
(兼)	佐々木定勝		

—— 水土里ネット秋田 ——

新任職員の紹介

4月1日付の人事異動で、本会に新たに11名の新任職員が加わりましたので紹介します。

1. 所属・役職
2. 前職（出身校）
3. 主な資格・趣味・特技
4. 抱負（自己PR）



栗谷川 嵩

1. 農地整備部 換地班 主事
2. 東北学院大学
法学部 法律学科
3. バスケットボール、スキー、
音楽鑑賞
4. 農業農村整備事業のことは未経験で皆様にご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、精一杯務めさせていただきます。先輩や上司の方を手本として一日でも早く職場と業務に慣れ、本会に貢献できるよう精進致します。



堀川 竜雅

1. 総務企画部南事務所 換地班 主事
2. ノースアジア大学
法学部法律学科
3. ギター
4. 一人の社会人として、気を引き締めて業務に取り組ませていただきます。至らない点多々あるとは思いますが、一日でも早く皆さんのお力になれるよう精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



鈴木 佳偉

1. 管理情報部 技術・調整班（兼）
水土里情報センター室 技師
2. 東北学院大学
3. 釣り、野球
4. 少しでも早く仕事を覚え、皆さんの力になれる知識、技術を身につけられるように日々努力していきたいと思っております。これから一生懸命仕事を覚えていくのでご指導よろしくお祈りいたします。



佐々木大義

1. 管理情報部 施設整備班 技師
2. 秋田県立金足農業高等学校
3. 作曲、ファッション
4. 金足農業高校で得た知識や技術を本会の業務に活かすことができるようこれから努力していきたいと思っております。ハウ・レン・ソウを意識してがんばっていききたいと思うのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



松永 周佑

1. 管理情報部 施設整備班 技師
2. 秋田県立西目高等学校
3. サッカー
4. 一日でも早く仕事を覚えて、本会や地域に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。初めて経験することばかりで至らない点多々あると思っておりますが、先輩方ご指導の程よろしくお願いいたします。



三浦 泰斗

1. 農地整備部 農地整備班 技師
2. 秋田県立大学
アグリビジネス学科
3. 映画鑑賞、散歩
4. ほ場整備事業に関して分からないことばかりではありますが、少しでも早く仕事を覚えられるよう精進していきます。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



門間 康太

1. 農地整備部 測量班 技師
2. 秋田県立金足農業高等学校
3. 絵を描くこと、体を動かすこと
4. 金農野球部で学んだ、何事にも全力で取り組む姿勢を忘れず自分の与えられた仕事に一生懸命取り組みます。最初は慣れないばかりで大変だと思っておりますが早くこの仕事に慣れて秋田県農業の力になれるよう頑張ります。



佐々木定勝

1. 管理情報部 技術・調整班 専門員
2. 秋田県建設部技術管理課
3. D I Y全般、筋トレ
4. 立場は変わりましたが、前職で培った技術や経験を活かし、本会での業務を通じて秋田県農業の発展に貢献できるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



鎌田 秋美

1. 管理情報部 施設整備班 専門員
2. 秋田県北秋田地域振興局 農林部
3. 野球観戦
4. 県庁時代は他部局（観光文化スポーツ部）など色々な業務をさせていただきましたので、この経験を本会の業務に活かせるよう頑張りたいと思っております。ご指導方よろしくお願いいたします。



渡部 剛

1. 管理情報部 施設整備班 専門技術員
2. 秋田県立秋田工業高等学校
電気科（昭和49年3月卒）
3. 第二種電気主任技術者
エネルギー管理士
バンドにてベース担当
4. 東北電力の技術系にて42年間勤務し、退職後は主に風力発電事業に携わっていました。本会にも電気技術系担務ということで、経験を活かし取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

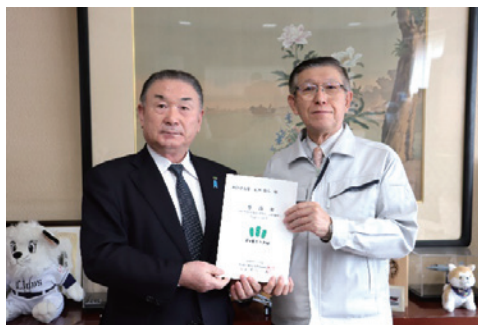


渡辺 豊

1. 農地整備部 換地班 専門員
2. 秋田県出納局財産活用課 専門員
3. 食べ歩き（県内各地に出向いています）
4. 20年以上前に、鹿角管内で3年間土地改良関係の仕事をしたのですが、ブランクがありすぎるので、人、仕事、環境に早く慣れ本会のため微力ながら頑張る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお祈りいたします。

「水田活用の直接支払交付金」の厳格化見直しへの要請活動

4月7日(木)高員会長は秋田県知事に主食用米からの転作を促す「水田活用の直接支払交付金」の要件厳格化について、国に見直しを求めるよう要請活動を行った。



〈佐竹知事への要請〉

要 請 事 項

- 1 「水田活用の直接支払交付金」の見直しに当たっては農業経営や圃場整備の推進など地域農業に与える影響を調査し、圃場整備における換地や営農構想、更には土地改良区の水利施設の維持管理に支障を来さないよう慎重に対応すること。
- 2 食料安全保障や中山間地域の農地保全の観点から水田機能を維持したほ場や、5年を超えて輪作するほ場も交付対象とするなど、田畑輪換による生産性の低下や耕作放棄地の増加を招かないよう、十分に配慮すること。

ため池に関する相談について

秋田県ため池保全サポートセンター

本会では、昨年度より秋田県ため池保全サポートセンター業務を受託し、ため池の現地パトロールやため池に関する相談について対応しております。その中から一部抜粋して相談内容を紹介いたしますので、ため池管理業務にご活用ください。

ため池管理者等からの相談対応(一部抜粋)

1. 由利管内(ため池管理者からの相談)

相談内容

堤体法尻からの漏水があります。止水などの対策を行ってききましたが、漏水量が増加しています。漏水の原因説明と対策を行いたいのに対応方法について教えてください。

対応

土地改良区体制強化事業による診断を実施し、その結果、漏水の原因と推定される30cm四方、深さ1m程の穴と斜樋取水栓の一部破損を確認することができました。補修については県等関係機関と協議し、事業化を検討することをお薦めし、事業化までの漏水応急対応として堤体表面の漏水穴の補修などの指導も行っております。

2. 仙北管内(土地改良区からの相談)

相談内容

ため池の洪水吐に新たなゲートを設置し貯水量を増量している状況です、平時の取水に特に不足がないにもかかわらず越流部に堰上げしています、ため池の安全性の観点から適正に管理してもらいたいのですが、ため池管理者が聞き入れてくれなく困っています、安全管理方法について教示して欲しいです。

対応

ため池の貯水量を増やす目的で、洪水吐流入部に堰上げすることは、洪水吐の流下能力を低下させ、洪水時や豪雨の際にため池から溢れ出た水が堤体を越流した場合、ため池が決壊する危険性があるので、絶対に行ってはならないことです。このことについて「秋田県ため池管理マニュアル」を用いて説明を行いました。※「秋田県ため池管理マニュアル」は本会ホームページに掲載しております。

3. 由利管内(ため池管理者からの相談)

相談内容

斜樋の取水栓開閉装置(油圧式)の操作が不能となったので対処方法を助言して欲しいです。

対応

取水栓開閉装置の動作状況を確認したところ、油圧が上がらず動作不能であり油送パイプの損傷が原因と推測し、ため池の水位が下がった時に油送パイプの点検と、必要に応じて交換することを助言しました。

問い合わせ先 管理情報部 加藤、佐々木 TEL 018-888-2727 FAX 018-888-2835



○今年度も秋田県農林水産部農山村振興課との共催により、「守りたい秋田の里地里山50」部門が継続されます！
「守りたい秋田の里地里山50」→ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/47094>

●趣旨

農業・農村は、食料生産の場だけではなく、生き物の命や水、緑といった自然を守り、私たちの心を癒やす場として、国民共通の財産と言えます。

秋田県土地改良事業団体連合会（以下「本会」とする。）では、秋田県の農村地域が持つ豊かな自然や農村生活の魅力を広く県内外の皆様にも知ってもらい、美しい農村風景を後世にまで守り伝えることの重要性を再確認していただくことを目的に「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールを開催します。

●実施主体

主催：秋田県土地改良事業団体連合会 共催：秋田県

●応募テーマ

(1) 農地や農作業の風景、(2) 四季折々の豊かな農村景観、(3) ため池、頭首工、水路等の土地改良施設、(4) 農業体験をしている活き活きとした子どもたちの様子、(5) 朝市や地域の祭りの様子等、農業・農村の魅力ある写真とします。

※全て秋田県内で撮影した未発表の写真に限ります。

●応募部門

応募部門は、次の3部門で、いずれの部門も上記の応募テーマに当てはまる必要があります。

(1) 秋田の農業&農村部門

- ①春の章（1月～7月頃に撮影された写真）
- ②秋の章（8月～12月頃に撮影された写真）

(2) 「守りたい秋田の里地里山50」部門

（認定された地域に関係する作品）

(3) SNS秋田の農業&農村部門

（Instagramへの投稿）

●入賞発表及び表彰

(1) 入賞作品は、審査委員会で審査し決定します。（2月初旬～中旬頃予定）

(2) 結果については、入賞者へ直接通知します。

（SNS部門の入賞者へはダイレクトメッセージで直接通知します。）

(3) 入賞作品は、本会・県のホームページで発表するほか、各種イベント等での展示や貸し出し、広報資料として広く活用します。

(4) 入賞者へは賞状と次の副賞を贈呈します。

■秋田の農業&農村部門

最優秀賞（春の章） 1点 副賞 30,000円相当

最優秀賞（秋の章） 1点 副賞 30,000円相当

（春の章/秋の章共通）

優秀賞 3点程度 副賞 10,000円相当

優良賞 5点程度 副賞 3,000円相当

■「守りたい秋田の里地里山50」部門

最優秀賞 1点 副賞 30,000円相当

優秀賞 2点程度 副賞 10,000円相当

優良賞 3点程度 副賞 3,000円相当

■2部門共通（秋田の農業&農村部門、「守りたい秋田の里地里山50」部門）

特別賞 5点 副賞 3,000円相当（優良賞以上の賞に入らなかった学生を対象）

参加賞 選外 水土里ネットオリジナルグッズ

■SNS農業&農村部門

最優秀賞 1点 副賞 10,000円相当

入賞 3点 副賞 3,000円相当

※副賞は全て金額相当の商品券となります。

※入賞作品は全部門共通で一人一作品とします。

●応募資格

・応募資格は高校生以上とし、プロカメラマンは対象外とします。また、日本国内在住の方で応募写真は秋田県内で撮影されたものに限りです。

・作品は、2019年1月1日移以降に秋田県内で撮影した写真とします。合成・加工など事実を改変する画像加工は認めません。

●応募方法

【(1) 秋田の農業&農村部門、(2) 「守りたい秋田の里地里山50」部門】

・A4の単写真とします。

・写真は必ず印刷し、作品の裏に応募票（自作可）を貼り付けて、発送又は直接お持ち込みください。

（応募票は本会ホームページ（https://www.akita-midori.net/photo_con/appli.htm）よりダウンロード出来ます。）

・応募は一人3点までとします。

【(3) SNS秋田の農業&農村部門】

・Instagramをインストールし、公式アカウント「@akita_midorinet」をフォローしてください。

・ハッシュタグ「#水土里ネット秋田フォトコン2022」を付け「タイトル、撮影日時、場所」と「作品の説明（意図）」をコメントに入れてInstagramに投稿してください。

・応募は、一人3点までとします。

●応募締め切り

令和4年12月23日（金）※当日消印有効

昨年度の入賞作品は本会HPよりご覧頂けます→http://www.akita-midori.net/photo_con/index.htm

●問い合わせ先・応募先

〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町3番37号 秋田県土地改良事業団体連合会 総務企画部 政策・広報班 担当：寺澤

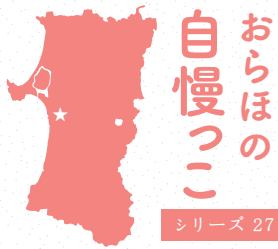
第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール係 TEL 018-888-2742

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く）

個人情報に関する取り扱い

秋田県土地改良事業団体連合会（以下、本会）は、本コンクール申込みに際し、第23回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール応募票に記載された個人情報について、本コンテストに関わる事務並びに入賞に関する本会からのお知らせや情報提供などの目的に限り利用します。また、外部から個人情報の公開・提供の依頼があった場合、その要請に対しては拒否し、申込みの皆様のプライバシー保護を遵守します。ただし、法令により開示しなければならない場合は、個人情報を開示する場合があります。

※入賞者に限り、会報誌やイベント並びに本会ホームページにおいて、住所の都道府県名及び氏名を公表する予定です。



来てけれ! 秋田市

秋田市観光文化スポーツ部観光振興課

主事 久米 竜矢

伏伸の滝・岨谷峡



川底が見えるほど透き通った水がゆるやかに流れ出す滝や、岩見川上流300mに渡って続く巨岩絶壁が新緑や紅葉、雪景色と移ろい、季節に合わせた風景を堪能することができます。

ダリア



秋田市はダリアの栽培が盛んで、県外市場から高い評価を得ています。また、秋田市では出生のお祝いに、ダリアをプレゼントする習慣を広め、ダリアの魅力を発信する取り組みを行っています。

日本酒



秋田市には5つの酒蔵があります。良質な秋田米で造られた、豊かな個性を持つそれぞれの銘酒は、全国の日本酒愛好家から支持されています。

秋田国際ダリア園



日本を代表するダリア育種家の鷺澤氏が育てたおよそ700種、7,000株ものダリアが9月下旬～10月に見頃を迎え、美しい大輪で色とりどりのダリアが一面に咲き誇ります。また、丘の上のレストラン「Villaフローラ」では園内を見渡しながらかしを楽しみすることができます。

えだ豆



秋田の枝豆は、昼夜の寒暖差により、より甘みと香りが強くなりおいしく育ちます。そんな旬の味をいつでも味わえるように、令和2年度に商品化された「あきたかおりえだ豆」は、旬の味をそのまま封じ込めた「冷凍えだ豆」として、高評価を得ています。

うまさ満開 サキホコレ



令和4年秋に市場デビューする、「サキホコレ」は秋田市においても約50haの作付けを予定しています。ふっくらとした粒立ちと、噛むほどに広がる甘い風味が特徴です。

土地改良区リレーインタビュー

秋田県仙北平野土地改良区 事務局長 坂本 由美子さん

今回の「秋田の土地改良」(Vol.520)から、県内で活躍されている土地改良区女性事務局長の皆さんからインタビュー形式で様々な質問にお答えいただきます。

その第1回目として秋田県仙北平野土地改良区 事務局長 坂本由美子さんからお話を伺いました!

インタビュー

Q.1

事務局長になられた時のお気持ちを教えてください。

土地改良区は事業を行う事で、組合員がより儲かる農業を実現させ、さらには地域の活性化を図る役割があります。これらの役割を果たすため、自分に課せられた責任の重みを強く感じた事を覚えています。これは女性に限らず、どの事務局長さんも同じではないでしょうか。日頃から国・県の事業制度をよく理解し、それを組合員へ分かりやすく伝えるよう、日頃から意識しています。



▲坂本事務局長

業務を行う上で、「これは男性の仕事、これは女性の仕事」といった固定概念を持たない事が大切だと考えます。この事は普段から女性職員にも話していますし、伊藤理事長も日頃からおっしゃっており、男女共同参画にも繋がるのではないのでしょうか。また、土地改良区は施設管理と事業がメインであり、現場から覚えていく事が基本だと思いますので、女性職員にも積極的に現場を経験してもらっています。

Q.2

仕事をする際、心がけていることはありますか。

Q.3

これまで経験した業務の中で大変だったことや思い出に残っている事がありますか。

大変苦労した業務と言えば、2つあります。1つ目は、土地改良区の合併に携わった時です。当時は子育ての真最中で、仕事と家庭の両立で苦労したことを覚えています。この時の自分の経験を踏まえ、今子育て中の人、若い人には同じような苦労を味わって欲しくないで「大丈夫?」と声を掛けるなど配慮するように気を配っています。もう1つは、会計を担当していた当時、単式から複式へ移行した事です。苦労しましたが、結果として自身のスキルアップにも繋がりました。どちらも今思えば大変でしたが、やり甲斐のある業務でした。



会員である女性職員自らが説明を行う施設研修など開催できれば面白いと思います。普段であれば男性職員が説明する事が多いですが、自ら説明する立場になり勉強する事で、職員の意識向上、スキルアップにも繋がるのではないのでしょうか。他にも女性が活躍している法人など他団体との交流を深めたり、女性の会単独で要請活動を行ったり出来ればと考えています。

Q.4

「あきた水土里ネット女性の会」の副会長に就任されていますが、これから女性の会をどのように展開していきたいですか。

Q.5

これからNN業界を目指す女性にアドバイスをお願いします。

土地改良区は「農業」だけでなく「食」や「環境」など生活そのものに関わる仕事です。また、小水力発電や防災減災事業は、脱炭素社会の実現やインフラ長寿命化など社会的にも大きく貢献しています。覚える事は沢山あり大変ではありますが、面白く、やり甲斐のある仕事です。若い皆さんには、土地改良区が地域にとって非常に重要な欠かせない存在である事を意識しつつ、組合員の皆さんの為に頑張っていたきたいです。



土地改良団体における男女共同参画とは?

女性参画推進は、多様性社会の活力を高め、地域社会・経済に活力をもたらすなど、農業・農村を継続させるために重要なことです。

令和2年12月には、第5次男女共同参画基本計画が閣議決定され、女性理事ゼロの土地改良区をゼロ、土地改良区(土地改良区連合含む)の理事に占める女性の割合が10%と成果目標に設定されました。

また、令和3年3月に閣議決定された土地改良長期計画には土地改良区(土地改良区連合含む)の理事に占める女性の割合が10%以上とする成果目標が設定されました。いずれも目標年度は2025年度です。(全土連HPから抜粋)



由利本荘市矢島町土地改良区

職員 佐藤 京子

最初にこの話を頂いたときに二つ返事をしてしまい、何を書けばいいのが悩みました。

趣味と言えるかどうかここ数年前から休日の土曜・日曜日にウォーキングをしています。それが

一年を通じて日課のようになっており、ウォーキング中に四季折々の風景に触れる事が心のリフレッシュとなっていています。

春は、青々とした新緑と



田んぼの田植え作業、夏はあちこちから聞こえるブッシュでの草刈作業、秋は赤・黄色の色鮮やかな紅葉と黄金色に実った稲穂、そして冬は白い雪に覆われている鳥海山や南から渡ってきた白鳥の群れが田んぼに集まり餌となるものを探し食べている姿。そんな風景を見ながらウォーキングをしていると自然はいいなと思います。今、コロナ禍で人と会うことが制限されている状況だからこそ、私のように間近で自然と触れ合うこともいいのではないのでしょうか。

秋田の土地改良519号についてお詫びと訂正

3月25日発行の秋田の土地改良519号について、掲載内容に誤りがありました。訂正箇所は下記のとおりです。

5ページ：「～米依存からの脱却した複合型農業経営の実現に向けて～湯沢市関口地区農地中間管理機構関連ほ場整備事業のご紹介」ページの内容について関口地区ほ場整備事業推進委員会 湯沢雄勝土地改良区 高山 陽二郎様のお名前に誤記がありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

誤：高山 陽二 様
正：高山 陽二郎 様

関係者各位および読者の皆様には、大変なご迷惑をお掛けいたしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

連 合 会 日 誌

4月15日	第1回正副会長会議	本会役員室
4月19日	都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者等合同会議	東京都
4月22日	第1回監事会	本会第2会議室
4月22日	第1回理事会・第1回役員会	本会第1会議室
----- 今後の行事予定 -----		
4月26日	雄勝支部全体会	湯沢市
4月27日	平鹿支部全体会	横手市
4月28日	大館・北秋田支部全体会	北秋田市
4月28日	由利支部全体会	由利本荘市
5月2日	鹿角支部全体会	鹿角市
5月2日	仙北支部全体会	大仙市
5月9日	山本支部全体会	能代市



大迫力の間欠泉

水土里レポーター：湯沢雄勝土地改良区(稲川支所)
主事 柴田 大翔

湯沢市皆瀬には、温泉が吹きだす小安峡大噴湯があります。新緑・紅葉の時期は絶景で、遊歩道が整備されているので間近でその様子を見ることが出来ます。また、冬には大きなしがっこ(つらら)を見ることができ、一年を通して楽しむことができます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



水土里のゴミゼロDAY

開催
予定

みんなで農業水利施設を清掃しましょう！

この取組は、農家の皆様の負担軽減、そして「日本一綺麗な水で農作物を作ること」を目的として県内8支部で一斉に農業水利施設周辺のクリーンアップ活動を行うものです。活動は新聞やTV、ラジオなどのマスメディアを通じて水土里ネットの存在を広く一般の人に知ってもらうことにも繋がります。水土里ネットの活動を多くの方に知ってもらうためにも、皆様のご協力をお願いいたします！！



お願い 各支部毎に新型コロナウイルス感染症対策を十分に行って実施してください。また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止になることがあります。

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。

- 由利本荘市子吉土地改良区(R4.3.25)
理事長 工藤 隆夫
- 八郎潟土地改良区(R4.3.26)
理事長 千田 幸一

「全国水土里ネット女性の会」 会長の就任について

本県「女性の会」会長が令和4年4月1日より全国水土里ネット女性の会会長に就任しましたのでお知らせいたします。



全国水土里ネット女性の会
会長 根本 由紀子

あきた水土里ネット女性の会 会長
かづの土地改良区 事務局長

(任期:令和4年4月1日～令和6年3月31日)

詳細につきましては、次号の会報誌インタビュー記事にて掲載予定です。

リレー 感想文



「ようこそ土地改良区へ」や「おらほの自慢っこ」など、大変興味深い内容が多く、学ぶための良いきっかけになっています。

これからも楽しみにしております。

秋田県多面的機能支援協議会

佐藤 広二

編集 後記

新年度が始まり早1ヶ月が経ちました。毎年この時期の楽しみと言えば、綺麗に咲いた桜を愛犬と一緒に見る事です。今年の桜は例年に比べ開花が少し早かったように思います。

さて、水土里ネット秋田には今年度新たに7名の新規職員が入会しました。まだまだ分からない事も多いかと思いますが、私も初心を忘れず一緒に様々な事を学んでいければと思います。

また、本号より県内改良区女性事務局長様方から様々なお話を伺うコーナーが始まります。水土里ネットで働いている輝く女性の皆様の日々の業務や体験談を県内外の皆様にお届け出来るよう頑張りたいと思います。今年度も水土里ネット秋田をどうぞよろしくお願いいたします。(政策・広報班 寺澤)

